

令和2年10月9日

保護者様

二宮町立山西小学校
校長 藤田 和人

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

秋麗の候、保護者の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

さて、度重なる台風の影響で2年生校外学習や運動会を延期する状況になりました。学校では、子どもたちが楽しみにしている学校行事の実現に向けて検討を重ねているところです。

台風のことを気がかりな昨今ではありますが、世の中は新型コロナウイルス感染症の収束が見込まれない現状にあります。我が国での感染症が発生して以来、本校に関わる児童や保護者、教職員に感染者は出ていませんが、いつ発生してもおかしくはありません。

今後、児童や教職員に罹患または濃厚接触が判明した場合には、臨時休校等の措置を講ずる対応も考えられます。それにより、授業や学校行事に影響が出ることも心に留めておかなければなりません。感染者や濃厚接触者すべての人は被害者であり、責任を負うものではありませんし、責められることがあってはなりません。山西小学校に関わるすべての人が、正しい理解と支え合う気持ちをもっていただくために今回のお知らせを配付させていただきます。日本赤十字社が発行した資料を参考に抜粋したものを記載しましたので、ご覧いただければと思います。

○新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

3つの“感染症”はつながっている！



第1の“感染症”＝「病気」…①



第2の“感染症”＝「不安と恐れ」…②



第3の“感染症”＝「嫌悪・偏見・差別」…③

3つの“感染症”とは何か



第1の“感染症”＝「病気」…①

- 感染者との接触でうつる
- 感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがある



第2の“感染症”＝「不安と恐れ」…②

- このウイルスは見えない、ワクチンや薬がまだない
- 強い不安や恐れを感じる
- 気づく力・聴く力・自分を支える力が弱まる



第3の“感染症”＝「嫌悪・偏見・差別」…③

不安や恐れは人間の生き延びようとする本能を刺激する



ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけようとする



差別心が生まれる



人と人との信頼関係や社会のつながりが壊される

なぜ、嫌悪・偏見・差別はうまれるのか？

見えない敵（ウイルス）への不安

敵はウイルス



特定の対象を見える敵とみなして嫌悪の対象とする

敵がすり替わる



嫌悪の対象を偏見・差別し、遠ざけることで
つかの間の安心感が得られる

本当の敵を
見なくなる

咳をしているあの人
コロナかも・・・

△△地区は危ない

〇〇人だ、危ない



差別の樹が育つ

〇〇人だ、危ない

マスクしてないなんて
ありえない

咳をしているあの人、
コロナかも

△△地区は危ない

××病院は危ないらしい

医療従事者の子は登園しないで
ほしい

ウイルスを遠ざ
けたいという
心理

感染への
不安・恐れ

特定の対象を
ウイルスと
関連付ける心理

生き延びよう
とする本能

防（ふせ）ぐ

第1の“感染症”＝「病氣」を防ぐ

- ・「手洗い」「咳エチケット」「3密をさける」

第2の“感染症”＝「不安と恐れ」を防ぐ

- ・立ち止まって一息入れる（深呼吸、お茶を飲む）
 - ・今の状況を整理してみる
 - ・自分自身をいろいろな角度から観察してみる（考え方、気持ち、ふるまいなど）
 - ・ウイルスに関する悪い情報ばかりを気にしない
 - ・なにかと感染症に結び付けない
 - ・趣味の時間や親しい人との交流を減らさない
 - ・生活習慣を乱さない
 - ・ウイルスに関する情報との距離を置く時間を作る
 - ・心地よい環境を整える
 - ・今、自分ができていることを認める
 - ・今の状況だからこそできることに取り組む
 - ・安心できる相手とつながる
- 気づく力を高める
- 聴く力を高める
- 自分を支える力を高める

第3の“感染症”＝「嫌悪・偏見・差別」を防ぐ

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています！！

- ・小さな子どものいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々をねぎらい、敬意を払いましょう！！！！